

分析ソフトでこんなに簡単!

簡単!



デジタル セファロ分析入門

WinCeph Ver.11 機能限定版付

佐藤 亨至 著

S

Cd

Ptm

Go

N

ANS

Me

Gn



医歯薬出版株式会社

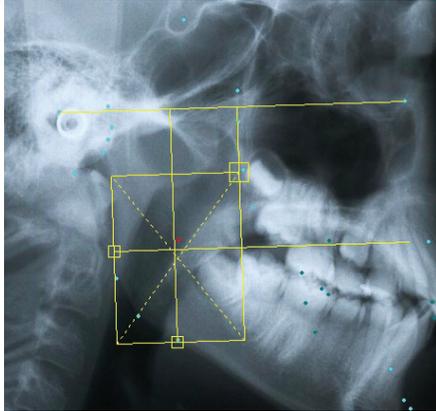


図 23 手計測では設定の面倒な Xi 点も、WinCeph を使えば自動的に補助線を引いてくれるので設定は容易である (図 11 参照)。

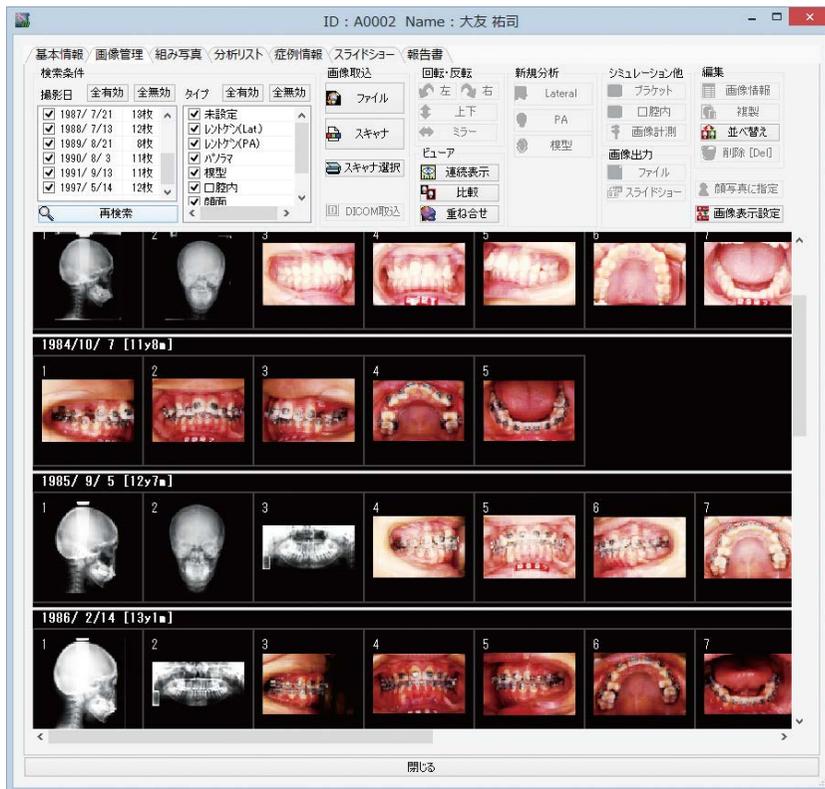


図 24 セファロだけではなく他のレントゲンや口腔内写真などを画像データベースとして一括管理できる。

うにすることもできるため、レントゲンフィルムや計測結果をすべてプリントアウトしてカルテと常に一緒に保管する必要がなくなる (図 24)。顔面写真や口腔内写真、他のレントゲン写真などを撮影日ごとに管理することができる。さらに、コンピュータを相談室 (カウンセリン

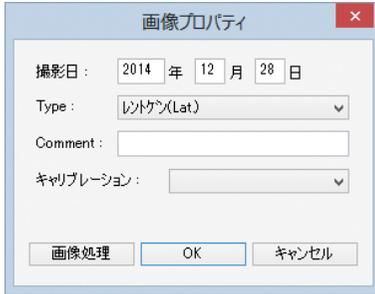


図 18 画像プロパティより撮影日の修正や画像タイプを選択する。

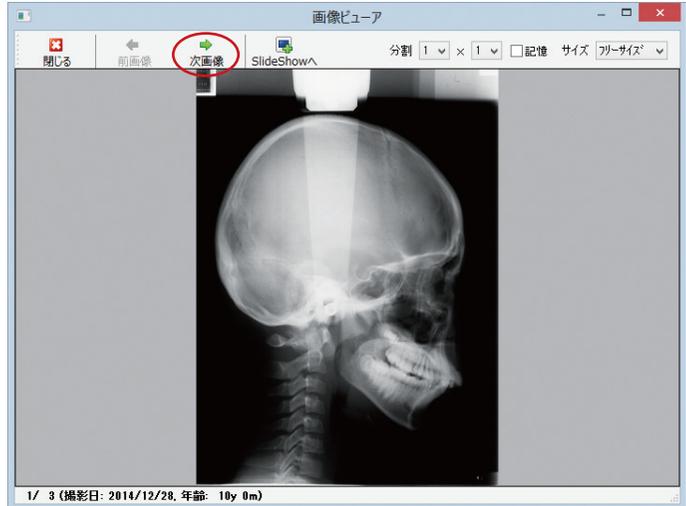


図 19 画像ビューアによる表示。

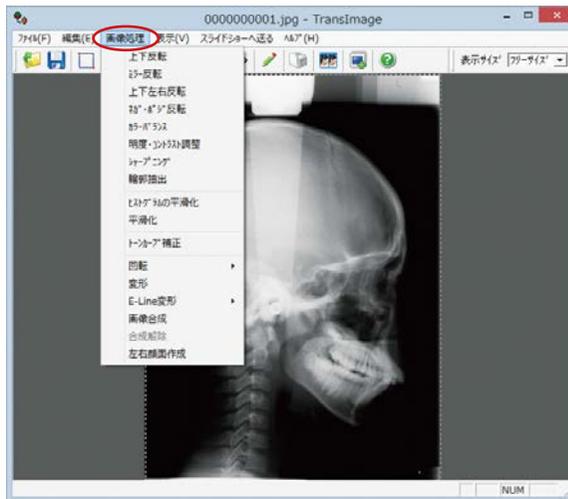


図 20 この画面から画像処理を行う。

取り込んだ画像をクリックして選択し（赤枠で表示される）、編集から「画像情報」ボタンをクリックして撮影日を確認し、画像の Type を選択する（図 18）。これによって画像の整理や検索などがしやすくなる。また、ビューアから「連続表示」ボタンをクリックすることにより画像を拡大表示し、左上の「次画像」ボタンで次々に画像を表示することができる（図 19）。また、画像管理に戻って、選択した画像をダブルクリックすることにより回転やミラー反転などの画像処理が可能になる（図 20）。たとえば、FH 平面が傾いているような場合は傾斜を修正しておくといよい。「画像処理」から「回転」→「任意回転」を選択し、

